

報道資料

発表年月日 平成29年11月20日
担当部署名 奈良県医療政策部保健予防課
係・担当者 感染症係 根津・馬庭
連絡先 0742-27-8612 (内線 3142・3225)

感染症の注意喚起～感染性胃腸炎の集団発生について～

県内の認定こども園において、感染性胃腸炎の集団発生事例（1週間に10名以上の発症）がありました。今シーズン（9月開始）ロタウイルスによる初発の集団発生事例となりますので、注意喚起のため報道発表します。

1 発症者の状況 ※11月6日～11月20日までに保健所が確認した発症者数。

・発症者数（11月20日9時現在）21名

・発症者内訳

園児（発症者数／園児数）

21名／103名（男 7名／48名、女 14名／55名）

クラス内訳：0歳児 6名／8名、1歳児 5名／8名、2歳児 7名／15名、3歳児 1名／25名
4歳児 1名／25名、5歳児 1名／22名

職員（発症者数／職員数）0名／21名

・症状 嘔吐・下痢・発熱

・現在の状態（11月20日 9時現在）

有症者 7名（男3名 女4名） 全員快方に向かっている。入院者・重症者 0名

2 検査結果

・園児4名（男2名 女2名）が医療機関での検便でロタウイルス陽性と判明。

3 施設について

施設名 大和郡山市立治道認定こども園（やまこおりやましりつはるみちになていこどもえん）

所在地 大和郡山市横田町254番地 TEL：0743-56-0760

施設長 越智 佳美（おち よしみ）

園児数 103名（男48名、女55名） 職員数 21名（男1名 女20名）

4 経過

11/17 欠席者サーベイランスにて下痢・嘔吐者8名を確認。

保健所が現地調査。

5 感染拡大防止のための対応

保健所は園に対して、園内の消毒の徹底など感染拡大防止対策の徹底を指導。園児及び職員の健康状態の把握と手洗いの励行、消毒、便・吐物の適切な処理方法等の徹底を指導。

6 感染性胃腸炎の防止策

・感染性胃腸炎のほとんどはウイルスが口を介して侵入します。食事の前には、必ず十分な手洗いを！

・吐物や汚物の処理は、使い捨て手袋やマスク着用し、消毒液（次亜塩素酸ナトリウム）で消毒を！

7 今シーズン（平成29年9月1日から）の感染性胃腸炎の集団発生状況（今回の事例含む）

発生施設数：2施設 発症者数：44人

（昨年度同時期 発生施設数：11施設 発症者数：573人）

※集団発生の定義（1施設、1週間以内に概ね10名以上発症で2名以上の確定診断）

※感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、患者及び、家族等の個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。

【ロタウイルスとノロウイルスの違いについて】

ロタウイルスもノロウイルスも感染性胃腸炎の原因となるウイルスである。

ロタウイルスは、乳幼児期(0～6歳ころ)にかかりやすく、5歳までにほぼすべての子どもが感染すると言われている。

ロタウイルスは感染力が強く、10～100個程度のごくわずかなウイルスが体内に入るだけで感染する。

ロタウイルスによる胃腸炎にかかると、乳幼児は激しい症状が出ることが多く、特に初めて感染したときに症状が強く出る。

特徴などの詳細は以下のとおり。

		ロタウイルス	ノロウイルス
特徴	科名	レオウイルス科	カリシウイルス科
	属名	ロタウイルス属	
	大きさ	直径約100nm	直径約38nm
	形状	球形	球形
	感染経路	経口感染	経口感染
	潜伏期間	48時間	12～48時間
	主症状	下痢嘔吐発熱	下痢嘔吐発熱
	有症状期間	概ね1～2週間	概ね3日以内
	症状消失後	1～2週間ほどウイルスが便中に排出されるため、二次感染に注意が必要	1～2週間ほどウイルスが便中に排出されるため、二次感染に注意が必要